

# 共にスポーツを楽しみながら、 「心のバリアフリー」をすすめます!!

## = インクルーシブ・スポーツプログラム事業 =

県立特別支援学校9校をモデル校に指定し、地域の小・中学校や高等学校との交流及び共同学習において、障害のある子どもとない子どもが共に楽しめるスポーツ活動に取り組んでいます。

県ではこのスポーツ活動を通じて、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学び共に育つインクルーシブ教育システム構築の推進をめざしています。

### ねらい

- 特別支援学校と小・中・高等学校の児童生徒が、スポーツを体験する中で、一緒に体を動かす喜びや同じ目的に向かって協力する一体感を味わう。
- 児童生徒同士が交友関係を深め、共に学び共に成長する契機とする。

### 北大津養護学校の取組



## 「ボッチャ」にチャレンジ!

～県ボッチャ協会の  
方々を招いて～

「ボッチャ」は、個人戦と団体戦があるパラリンピックの正式種目です。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのカラーボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当たったりして、いかに近づけるかを競います。

### 参加した生徒の声

とても緊張したけれど、しっかり投げることができました。今後、大会などに積極的に参加して、もっと上達し、将来はパラリンピックの選手になればよいと思っています。

### 草津養護学校と 瀬田工業高等学校の取組

## 「バスケットボール」で交流

～滋賀レイクスターズの選手を招いて～

### 参加した生徒の声

- 今日の交流は滋賀レイクスターズの人に来てくれて、うれしかったです。瀬田工業高校の人とペアになって教えてもらいました。足元の間を八の字にボールを動かしたり、反射神経をためしたりして、初めてで難しかったけど楽しかったです。私は、途中で突き指をしてしまい休憩をとることになって、その時に「大丈夫」って声をかけてくれたのが特にうれしかったです。
- 最初はとてもはずかしかったけれど、お話をしたら相手は優しく、わからない部分も優しく教えてもらえてよかったです。来年もまた交流したいです。



タイミングを合わせてボールをキャッチ!

今後、障害者アスリートやスポーツ指導者を招いた交流事業も計画しています。

問合せ先 学校支援課

☎077-528-4643